

白熱のトーナメント戦

中学バスケット市長杯が開幕

富士市バスケットボール協会による「第57回富士市長杯バスケットボール大会」の中学校の部が28日、市内の中学校体育館で開幕した。

男子の部に14チーム、女子の部に13チームが出場。29日までに1、2回戦が行われ、トーナメント戦で熱戦を繰り広げている。

試合の結果、男子の部では富士南、吉原一、A・B・C、富士の部が勝ち進出。女子の部では田子浦、富士川一、宮原北、吉原80-10吉



相手選手の守備を避けてシュートを放つ岩松男子の部1回戦対戦(左)

ドリブルで攻め込む富士(女子)の部1回戦 対吉原(右)

原一、A・B・C 118-21
土川一、須津 47-39
淵、岳陽 45-25
吉原三
22回戦：富士南 68-
22回戦：吉原一 61-46
田子浦、A・B・C 110-33
須津、富士 39-28
岳陽
(女子の部)
▽1回戦：大淵 43-30
須津、吉原北 43-37
原一、富士川一 41-29
岩松、富士 36-27
吉原一、吉原北 46-23
▽2回戦：田子浦 34-
8 大淵、富士川一 59-
38
38 吉原北、富士南 72-
22 富士、岳陽 14-4
原三

◇第57回富士市長杯バスケットボール大会(29日の結果)
(一般・高校男子)
▽1回戦：S・T・S 50-
21 M・A・R・S、ザ・モン
キーズ 59-26
F・E・ダンクス
▽2回戦：S・T・S 64-
46 S・A・M・U・R・A・I、
P・レイク 52-38
S・I・O・t

移動用コンテナを販売

ケーアイ工業 移動販売需要に対応



同社が開発した移動用ボックスが並ぶ会場

コロナ禍でキッチンカーをはじめとする移動販売に注目が集まる中、富士市久沢の金属加工メーカー・ケーアイ工業はこのほど、軽トラックの荷台に設置する移動用コンテナを製造販売する「acobo factor」を立ち上げた。

自社の加工技術を生かした商品で、キッチンカーでの営業を目指す人の需要に対応。同社の稲葉大智さんは「今後もさまざまなモデルを展開し、営業を目指す人への提案の幅を広げていきたい」と思いを語った。

主に建材の金属加工

29日には展示イベント「キッチンカー体験」を同社駐車場で開いた。キッチンカーとマルチカーのPRをはじめ、現役のキッチンカーによるフードやドリンクの販売、開業準備セミナーを繰り広げ、多くの人にキッチンカーの魅力と開業のヒントを発信した。

展示されたキッチンカーは、このほど改良された新仕様。同社従業員からの指摘を受け、清潔感といった長所をそのままに、独自開発したパネルを使用することで高強度化と断熱性の向上を図っている。開業セミナーでは、

キッチンカーの運営経験を持つライフデザイナーの早川方史代表が講師を担当。事業に際した車両タイプや購入方法、メリットとデメリットなどを紹介し、このほか相談コーナーも設けられ、富士市地域産業支援センターBe@レットふじの職員が起業に関する同社社員が購入に関する相談に対応した。

稲葉さんは「徐々に増える問い合わせ件数から需要の高さを感じている。今後は販売用のボックスだけでなく、多彩な展開をできれば」と期待を寄せた。

第4回富士市就職面接会

2月13日 市役所
ハローワーク富士

富士市は2月13日(月)の午後1時~4時(受付は3時半まで)に富士市役所6階の第1、2会議室で「第4回富士市就職面接会」を開催する。

求職者と企業採用担当者との就職面接会。地元企業4社が参加し、

h、ケイジャーズ54
50 UNION、KTトラ
レイブ75-49ザ・モン
キーズ

▽3回戦：P・レイク 81-
56 S・T・S、KTトラ
イブ 77-55
ケイジャーズ

面接会を周知するチラシ

わたせる。登録済みの人は電話で予約できる。当日はハローワーク受付票、またはマイページのログイン画面を提示する。受付票がない人はハローワーク富士で再発行できる。

持ち物は、ハローワーク受付票登録が分かるもの、筆記用具、メモを取れるもの。事前にハローワークの紹介を受けている人は、紹介状を持参する。履歴書は不要。

同面接会への参加は、失業保険の受給のための求職活動実績となる。先着順のため希望者多数の場合は、キャンセル待ちとなることもある。

問い合わせはハローワーク富士(0512151)、または富士市商業労働課(0552778)。

2月の人権相談

市役所に特設窓口

富士市人権擁護委員協議会は「2月の特設人権相談」を富士、富士宮両市で開く。同委員が、毎日の暮らしの中で起こるさまざまな人権問題について無料で相談に応じる。

会場と日程は次の通り。

〔富士市〕
▽9日(木) 午前10時~午後3時：市役所3階市民相談室(富士宮市)
▽21日(火) 午後1時~4時：市役所1階市民生活課らしの相談係(人権擁護委員は差別

新型コロナウイルス感染症対策 マスク着用は従来同様、基本的な感染防止対策として重要で、一人ひとりの行動が、大切な人と私たちの日常を守ることに繋がります。

屋外 距離が確保できる

マスク必要なし

会話をする

目安 2m以上

マスク必要なし

会話をほとんど行わない

公園での散歩やランニング、サイクリングなど

距離が確保できない

マスク着用推奨

マスク必要なし

徒歩や自転車での通勤など、屋外で人とすれ違う場面

屋外では人との距離(2m以上を目安)が、確保できる場合や、距離が確保できなくても、会話をほとんど行わない場合は、マスクを着用する必要はありません。

※高齢の方や会時や病院に行く時は、マスクを着用しましょう。体調不良時の出勤・登校・移動はお控えください。